

鎌ヶ谷市

# 市民活動推進センター

だより

発行：鎌ヶ谷市市民活動推進センター 発行月：平成19年9月 NO.4(不定期)

NEWS

市民活動推進センター

## 開所 1 周年 記念イベント

日時・・・9月29日(土) 9:00～15:30

場所・・・鎌ヶ谷市生涯学習推進センター(まなびい) 1階

今月  
29日!

### ① 市民公益活動団体 インフォメーションブース

市内で活躍している14団体が参加。パネルやチラシなどで、活動を紹介します。

《参加団体》 栗野の森の会 / 鎌ヶ谷おもちゃの図書館「あ・そ・ぼ」 / 鎌ヶ谷おやこ劇場 / 鎌ヶ谷市国際交流協会  
鎌ヶ谷手話サークルみどりの会 / 鎌ヶ谷市要約筆記サークル「あいあい」 / 鎌ヶ谷市レクリエーション協会  
鎌ヶ谷スポーツダンス協会 / 鎌ヶ谷パソコンサークル / NPO 法人感声アイモ / NPO法人きらら  
シニア・ピア・なごみ / ふるさとづくり連絡会 / やろう会 (五十音順)

### ② ミニ交流サロン

提案者が話題を提供し、お茶を飲みながらくつろいだ雰囲気に参加者が交流を図ります。(参加費無料)

- ★ 10:00～10:45 『いずみ湧く森よ!広がれ!』(栗野の森の会)
- ★ 11:00～11:45 『「あそびの城」子どもとのふれあい』(鎌ヶ谷レクリエーション協会)
- ★ 14:00～14:45 『コミュニケーションを築く声育土』(NPO 法人感声アイモ) ほかを予定。

### ③ 電子紙芝居

海の仲間たちのお話をもとに、市民活動推進センターを紹介する電子紙芝居です。



## 団体紹介

当センターでは、鎌ヶ谷市内で活動している団体を訪問し、その活動内容を“団体紹介(特集)”として掲載しています。

NPO 法人

# さあーど



#### 【団体データ】

代表者	泉 一成 (いずみ かずしげ)
団体所在地	〒273-0113 鎌ヶ谷市道野辺中央 3-3-7
TEL (fax)	0 4 7 - 4 4 6 - 5 2 8 5 (4 1 2 - 2 2 4 8)
e-mail	<a href="mailto:2128693001@jcom.home.ne.jp">2128693001@jcom.home.ne.jp</a>

#### 【活動情報】

- ◇環境保全活動(大津川、中沢)
- ◇高齢者や子ども、障がい者を対象とした権利擁護と福祉の相談窓口(随時)
- ◇市民なんでも相談(随時)



事務所にて

## 活動紹介



### 団体設立に至った経緯は？

知的障がい者施設や生活クラブ生協での仕事を通して、障がい者や子どもたちと関わる中で、“高齢者や障がい者、子どもの相談窓口が無い”“施設で働く職員のカウンセリングが無い”といった現状に触れ、総合的な相談窓口の必要性を感じ、2004年1月NPO法人を設立しました。



### 活動の目的は？

高齢者や障がい者、子どもを対象とした福祉に関する情報提供や、総合的な相談事業を行うことで、一人ひとりが主体的に活動できる市民社会の確立に寄与します。



### 大変なことは？

相談事業はとても難しいものです。相談者との信頼関係を、短期間で築けるよう努力するとともに、多種多様な問題が絡み合っている相談に対して、内容を整理しながら優先順位をつけて、迅速に対応していくことが求められます。  
また、経験が増えるほど先入観で対応して相手を傷つける可能性が出てきます。常に新たな姿勢で相談者と向かい合います。



### 団体のアピールポイントは？

- ◇弁護士、医師、社会福祉士、臨床心理士といった専門家が協力者になっていて、その専門性を活かした相談事業を行うことができます。
- ◇知的障がい者施設や生活クラブ生協で培った、広域的なネットワークや経験を活かしたサポートを行うことができます。



### 喜びを感じるのは、どんな時？

- ◇虐待の相談で出会った子どもが、大人になって結婚し「あの時、サポートをしてもらってよかった」と言ってくれたこと。
- ◇高次脳機能障害者が公的支援を受けるために一人で暮らすことになったが、その人の生活をサポートするために幅広い支援ネットワークができたこと。



### これからの活動は？

- ◇積極的な情報公開と情報発信（定期的な通信の発行など）
- ◇相談事業の充実
- ◇障がい者のグループホームの開設と成年後見の相談窓口の併設



### 工夫していることは？

「福祉」の世界だけでは狭いので、相談に対して自分の団体だけで完結せず、他のNPO等と連携をしながら、さまざまな意見が聞ける受け皿づくりをしています。

## マメ知識

### 高次脳機能障害とは・・・？

交通事故等による脳の損傷や、脳の病気による脳の損傷を受けると、その後遺症として脳の高次の働き（言語、思考、記憶、行為、学習、注意）に障がいが出てきます。この障がいに対する社会認知度が低く、医療・福祉の対応は遅れていると言われています。

## WANTED!

### ！ 事業のスポンサー

### !! 事務所開設のための支援者



ま張民 こてハうみと歩くに活ら態「  
す。活センといーク。すもく市こや動。の  
て動ンでくトク。る。ことも民活かして9  
いのタはこでル。る。ことも民活かして9  
き。のタはこでル。る。ことも民活かして9  
たい。のタはこでル。る。ことも民活かして9  
い。のタはこでル。る。ことも民活かして9  
と。のタはこでル。る。ことも民活かして9  
思。のタはこでル。る。ことも民活かして9  
つ。のタはこでル。る。ことも民活かして9  
て。のタはこでル。る。ことも民活かして9  
い。のタはこでル。る。ことも民活かして9  
頑。のタはこでル。る。ことも民活かして9

取材を終えて・・・